

今、企業の経営戦略のひとつとして「CSR」(企業の社会的責任)が注目されているが、近江商人の経営理念である「三方よし」(売り手よし、買い手よし、世間よし)こそ、CSRの原点といえよう。このコーナーでは、中小企業のCSR、三方よしの実践事例をインタビュー形式で紹介する。

院内感染対策を考慮した清掃ガイドラインづくりと、「生き物にやさしい環境」の創造に取り組む。

医療現場で大きな問題になっている院内感染。清掃などの環境衛生管理で病院と深く関わってきた株式会社浄美社は、蓄えた知恵を生かして「感染予防に考慮した清掃」のガイドラインをつくり、感染予防への貢献に取り組む。その背景には「社会に恩返ししたい」との肩を張らない想いがあった。

感染予防の視点から清掃を体系づける

まず、浄美社さんと病院との関わりをご紹介ください。

滋野 工場やビル環境衛生管理でスタートした会社ですが、昭和42年ごろから病院メンテナンスに進出。滋賀県内及び京都・大阪の病院をはじめ、全国で724もの医療施設の環境衛生管理に関わってきました。

京都府立医科大学と共同で、院内感染対策に基づいた清掃方法のガイドラインづくりに取り組んでおられますね。

滋野 院内感染は1989年ごろ「MRSA」という、抗生物質が効かない菌が現れてクローズアップされました。医療施設の清掃を請け負う弊社にとっては「ただ掃除する」という発想を切り替える転

機になりました。

岡弘 清掃によって菌を院内へ拡散させる危険がありますからね。たとえば雑巾やモップの“清潔さ”を菌の数で考えるなど、それまでにない手法が必要なのです。この変化に対応するため、本社内に「環境科学センター」を設立。「院内感染対策に基づく清掃法」を自ら考えようと取り組んできました。その蓄積を院内感染予防に役立てることがガイドラインの目的です。

医療機関での経験を生かした「社会貢献」

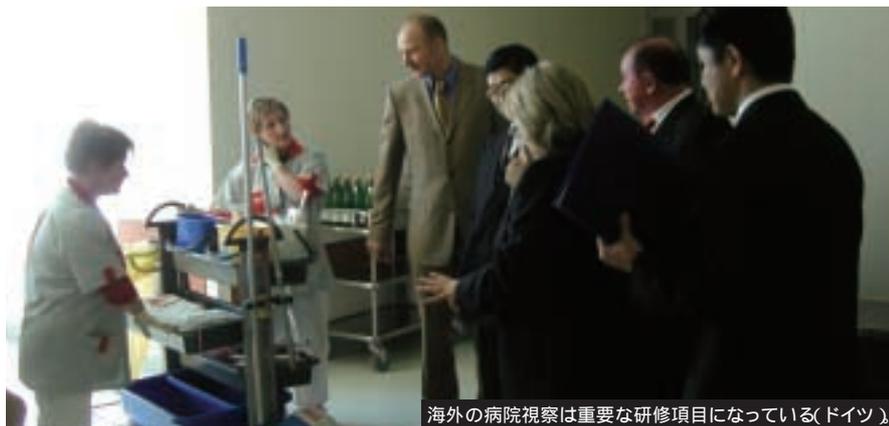
わが国にガイドラインはなかったのですか？

滋野 厚生労働省が一応の目安を設けていますが、医療費による財政圧迫が予想されるいま、その点ですで行

き詰まったドイツなどの施策を盛り込んだ「将来モデル」づくりが必要です。そのような発想から幅広い事例、知見を参考にしながらガイドラインを作成。情報提供や「医療現場になじむか」などの監修を京都府立医大の藤田直久先生にお願いしました。

これを広く社会に役立てていけるお考えですか？

滋野 科学的根拠に基づき、かつ院内感染予防を意識した環境整備作業はまだ普及していません。このガイドラインが業界全体の作業品質を高めて、それによってひとりでも多くの生命を救えるなら…。そう願わない人はいないでしょう。誰かが取り組まなくてはならない課題で



海外の病院視察は重要な研修項目になっている(ドイツ)





株式会社浄美社

PROFILE

本社所在地/京都市右京区太秦川所町7-100
代表取締役社長 滋野好史
資本金/9,000万円 従業員数/1,180名
事業内容/医療施設・ビル・工場等の総合管理
URL/http://www.jobisha.co.jp

代表取締役社長 **滋野 好史さん**

プロジェクト開発部 環境科学センター

岡弘 真由子さん

プロジェクト開発部 環境科学センター

高田 純也さん

す。医療機関での経験が豊富な私たちだからできる「社会貢献」。そんな素朴な気持ちに突き動かされました。

「清掃マイスタースタッフ」という資格づくりへの取り組みも関連しますか？
岡弘 ガイドラインを実行できるスキルと意識を持つ清掃スタッフを育てるため、能力に応じた等級づけを考えています。これで社会的地位が高まって、いま以上に誇りを感じて働いてもらえれば、業界全体のレベル向上にもきっと役立つと思います。

「ホタルの飛ぶ庭」は地域への恩返し

「ホタルの飛ぶ庭」を社内に持っておられるそうですね。

高田 「アーバンエコロジーガーデン」と名づけています。かつて、あるビール工場さんの依頼により工場内でホタル

クリーンスタッフへの教育は何度も何度も行われる。



を養殖。その経験から「虫や鳥たちと共生できる緑地環境」を太秦の街なかにつくったわけです。ホタルの幼虫の餌となるカワニナ(巻貝の一種)は清流に近い環境にしか棲めません。この庭では薬剤は使わず、自然の浄化メカニズムだけによる“清流系”を再現しました。
滋野 カワニナが棲めるのだからお子さんも安心して遊べます。「浄美社へ行ってホタルを見よう」。近い将来、そうやって地域の皆さんに気楽に来てもらうことができると思います。

高田 本社併設の環境システム工学研究所では、ホタルやカワニナの人工

飼育などで「生き物からみた快適な環境」を研究しています。ビジネスに直結しませんが、“浄美社ファン”をつくるのが目的なのです。

松尾橋あたりでの桂川の清掃ボランティアなど、地域貢献に取り組んでおられますね。

滋野 地域に恩返しするのに理由はいりません。弊社の前に大きな時計があります。これにも格別の理由はありません。通りすがりの人のお役に立てば...ただ、それだけ。会長の代からそうやって社会と繋がってきた会社なんですよ。